

第 10 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.02
	産業			

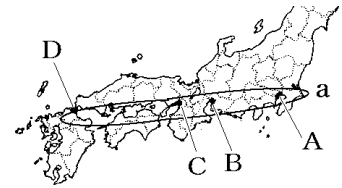
【問題 1】

右の地図をみて、各問いに答えなさい。

(1) A～D の工業地帯名を[]内から選んでそれぞれ書きなさい。

[阪神工業地帯 北九州工業地帯 中京工業地帯 京浜工業地帯]

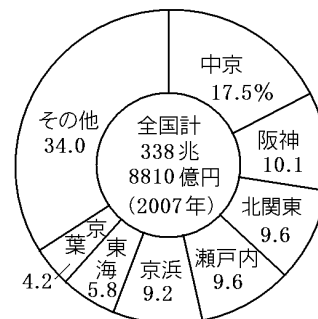
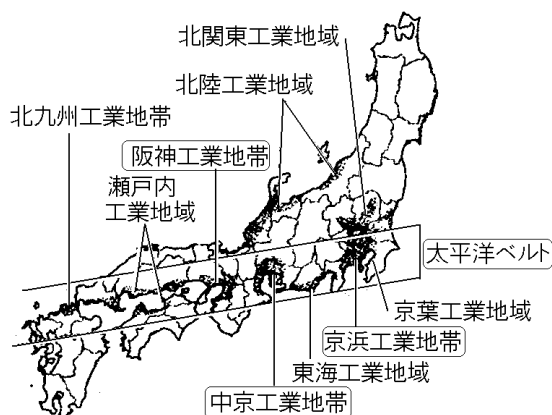
(2) 地図中の工業地帯・地域がつながっている a を何といいますか。



【解答欄】

(1)A 京浜工業地帯	B 中京工業地帯	C 阪神工業地帯	D 北九州工業地帯
(2) 太平洋ベルト			

【解説】



日本の工業地帯・地域は原料や燃料の輸入や工業製品の輸出に有利な臨海部に発達している。

(海上輸送は陸上輸送よりも輸送コストが格段に小さいため)

現在の工業地帯・工業地域は太平洋ベルトとよばれる臨海部に集中している。

すなわち、京浜工業地帯・北関東工業地域・京葉工業地域－東海工業地域－中京工業地帯－阪神工業地帯－瀬戸内工業地域－北九州工業地帯(教科書によっては北九州工業地域と表記)と連なっている。

このうちで、中京工業地帯(出荷額の全国比は 17.5%)・京浜工業地帯(同 9.2%)・阪神工業地帯(同 10.1%)を三大工業地帯という。

(かつては、北九州工業地帯(同 2.6%)を含めて四大工業地帯とよんでいたが、戦後、北九州工業地帯の地位は著しく低下した。)

(統計出典)「日本国勢図会 2010/2011」 P195

[問題 2]

下の()にあてはまる都道府県を書きなさい。

- ① 京浜工業地帯－東京都・神奈川県
- ② 中京工業地帯－()・()・()
- ③ 阪神工業地帯－()・()
- ④ 北関東工業地域－()・栃木県・群馬県・茨城県
- ⑤ 瀬戸内工業地域－()・()・山口県・香川県・愛媛県
- ⑥ 東海工業地域－()

[解答欄]

②愛知県・三重県・岐阜県	③大阪府・兵庫県	④埼玉県
⑤広島県・岡山県	⑥静岡県	

[解説]

中京工業地帯：愛知県・三重県・岐阜県

京浜工業地帯：東京都・神奈川県

阪神工業地帯：大阪府・兵庫県

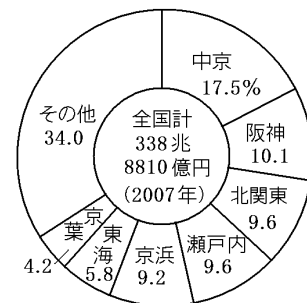
北関東工業地域：埼玉県・栃木県・群馬県・茨城県

瀬戸内工業地域：広島県・岡山県・山口県・香川県・愛媛県

東海工業地域：静岡県

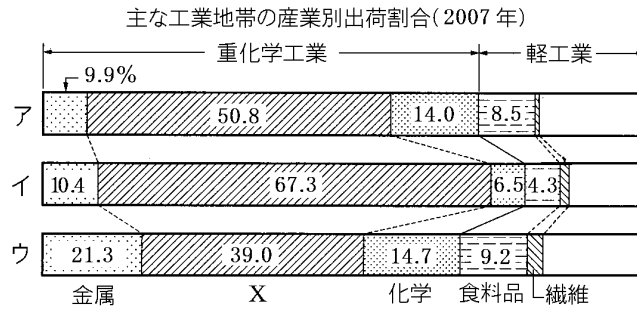
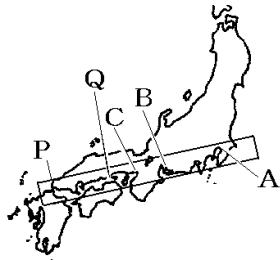
京葉工業地域：千葉県

北九州工業地帯：福岡県



[問題 3]

次の地図・グラフを見て、各問いに答えなさい。

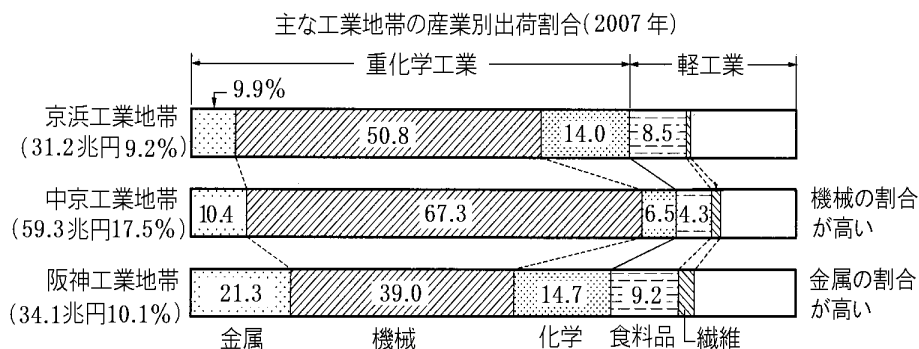


- 地図の A～C の工業地帯名を書き、グラフから、その工業地帯の工業製品出荷額割合を選び、ア～ウの記号で答えなさい。
- グラフ中の X には、どのような工業が入りますか。
- 日本の大きな工業地帯が带状に集まっている地域 P を何といいますか。
- 地図 Q などにある、生産能率を高めるために、計画的につくられた工場群を何といいますか。

[解答欄]

(1) A 京浜工業地帯、ア	B 中京工業地帯、イ	C 阪神工業地帯、ウ
(2) 機械工業	(3) 太平洋ベルト	(4) コンビナート

[解説]



(1)(2) A は京浜工業地帯、B は中京工業地帯、C は阪神工業地帯である。出荷額割合のグラフから工業地帯名を判断するためには、まず、機械工業の割合に注目する。各工業地帯とも、機械工業の占める割合が他の工業に比べて高いので、X は機械工業と判断できる。機械工業の割合が 67.3% と圧倒的に高いイは、自動車工業(トヨタ自動車など)が発達した中京工業地帯と判断できる。次に、残りのアとウのどちらが京浜工業地帯・阪神工業地帯か判断するためには、金属工業に注目する。阪神工業地帯は、他の 2 つの工業地帯に比べて、金属工業の割合が高く、機械工業の割合が低い。したがって、ウが阪神工業地帯と判断できる。

(統計出典)「日本国勢図会 2010/2011」P195・P196

(4) 生産能率を高めるため、計画的につくられた工場群をコンビナートという。日本では、倉敷市水島、四日市市、市原市(千葉県)などの石油化学コンビナートが有名で、石油精製・石油化学工場・火力発電所などがパイプなどでつながり、原料や燃料の石油の半製品をうけわたし、能率を高めている。

[問題 4]

次の地図を見て、各問いに答えなさい。

- (1) 地図中の●は何の工場の分布を表しているか。

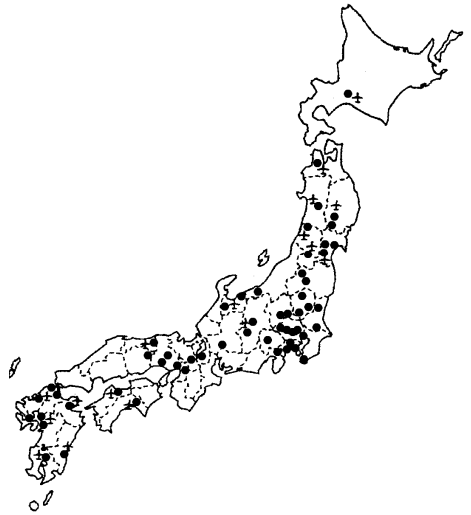
次から1つ選びなさい。

〔化学工場 製鉄所 IC工場 自動車工場〕

- (2) 地図中の●の工場の分布について説明した次の文中の()
にあてはまる語句を語群から選んで書きなさい。

地図中の●の工場で生産される製品は価格のわりに重さが
(①)ため、輸送にあまり費用がかからない。そのため、安
い工場用地や豊富な(②)を求めて、九州や東北地方の
(③)や高速道路の近くといった交通の便のよいところに
工場が進出した。

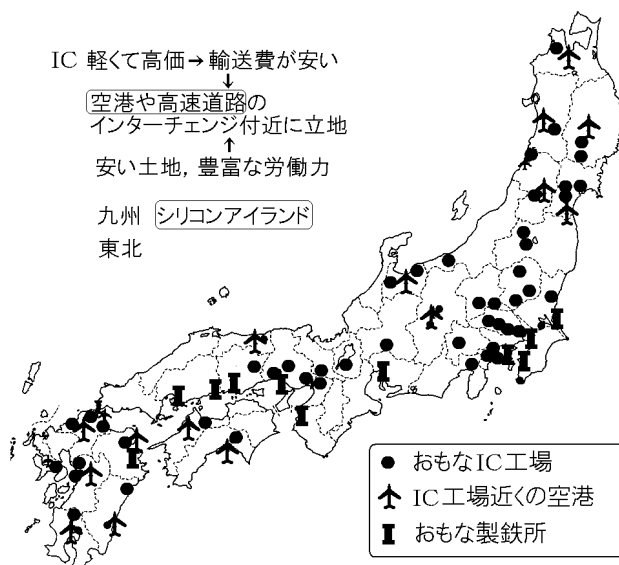
(語群)〔空港 港 労働力 原料 重い 軽い〕



[解答欄]

(1) IC工場	(2)①軽い	②労働力	③空港
----------	--------	------	-----

[解説]



例えば、鉄鋼業などは内陸部には発達しにくい。鉄のように価格の割に重いものは、陸上輸送のコストが大きすぎるために採算がとれなくなるからである。これに対し、ICのように価格の割に非常に軽いものは、輸送コストが小さくてすみ、陸上輸送、さらには、航空機による輸送でも、輸送コストの負担は小さい。そのため、ICの工場は、東京周辺のほか、九州や東北地方にも、安い工場用地と豊富な労働力を求めて、空港や高速道路の近くに進出している。九州地方はシリコンアイランドとよばれるようになった。

[問題 5]

外国で生産を行う企業が増え、これによって工業製品の国内生産が減少している。この状態を何といいますか。

[解答欄]

産業の空洞化

[解説]

人件費の安いアジアに工場を建設
↓
工業製品の国内生産が減少 → 産業の空洞化

1990 年代にバブル経済の崩壊によって国内の不況が長引くなか、競争に生き残るために、**人件費の安い海外に工場を設けてコストダウンをはかる**企業が増えた。電気製品など、海外の工場で生産した製品を輸入して国内で販売するメーカーが多くなっている。海外に工場を移転したことによって、日本国内の工場が減少し、いわゆる**産業の空洞化**がおこっている。

[問題 6]

以下の問いに答えなさい。

- (1) 三大穀物を書きなさい。
- (2) 米の生産のさかんな地域を次から選びなさい。
[アメリカ アフリカ アジア]
- (3) 米の生産が世界一の国はどこか。
- (4) 小麦・オレンジを日本が最も多く輸入している国はどこか。

[解答欄]

(1) 小麦、米、とうもろこし	(2) アジア	(3) 中国	(4) アメリカ
-----------------	---------	--------	----------

[解説]

世界の三大穀物は**小麦、米、とうもろこし**である。**米は、おもにアジアの国々で主食**になっており、アジアの国で世界生産の 9 割以上を占めている。米の生産(2008 年)が多いのは、**中国(28.2%)**、インド(21.6%)、インドネシア(8.8%)など東アジア・東南アジア・南アジアの国々である。米の輸出量が世界一位であるのはタイである。

(統計出典)「日本国勢図会 2010/2011」 P153・154

小麦は、ヨーロッパ、アメリカ、西アジアなど多くの国で主食になっている。小麦の生産(2008 年)が多いのは、中国(16.3%)、インド(11.4%)、アメリカ(9.9%)、ロシア(9.2%)、フランス(5.7%)、カナダ(4.1%)である。

(統計出典)「日本国勢図会 2010/2011」 P156

とうもろこしは、世界各地で栽培されている。主食としてだけでなく、家畜の飼料、加工食品としても利用されている。

世界最大の農業国で、最大の食料輸出国であるのはアメリカである。小麦、とうもろこし、大豆などは、アメリカが最大の輸出国になっている。日本は主要な穀物の輸入のほとんどをアメリカにたよっている。2009 年の輸入量に占めるアメリカの割合は、小麦は 59.4%、とうもろこしは 96.4%、大豆は 68.3%である。

(統計出典)「日本国勢図会 2010/2011」 P316

[問題 7]

次の問いに答えなさい。

(1) 日本が 90%以上を輸入に頼っている農産物を[]内から 1 つ選びなさい。

[大豆 米 牛肉]

(2) 1995 年から一部の輸入が認められたが、基本的に日本は輸入しないものを(1)の[]内から 1 つ選びなさい。

[解答欄]

(1) 大豆	(2) 米
--------	-------

[解説]

(1) 主要穀物の中で特に自給率が低いのは大豆(自給率 6%)と小麦(同 14%)である。

(2) 近年、日本からアメリカへの輸出が輸入を大幅に上回り、アメリカの対日貿易は赤字の状態が続いている。1980 年代に、アメリカは日本に対し農作物の輸入を拡大するように求めてきた。こうした貿易摩擦を解消するために、日本は 1991 年にオレンジや牛肉の輸入を自由化した。さらに 1995 年からは米の輸入も一定量(ミニマムアクセス)をみとめることにした。ただ、わが国の主食である米の自給率は保ちたいとの考えから、輸入量は一定量に限定している。2009 年の米の生産量 847 万トンに対し、輸入量は 68 万トンである。

(統計出典)「日本国勢図会 2010/2011」P151・P153